

(社) 和歌山情報サービス産業協会

2008年6月発行

WAKASA NEWS

Vol.32

編集：広報・リクルート委員会 (〒642-0017) 海南省南赤坂11
TEL:073-483-7300/FAX:483-6006
URL:<http://www.wakasa.or.jp/>
E-Mail:info@wakasa.or.jp

和歌山県北山村奥瀬峡筏下り



会長 金中 甫干

15周年記念式典・通常総会「会長挨拶」

協会の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本日、5月16日(金)開催の第22回通常総会におきまして、皆様方からご推薦を頂き、再び会長に選任されました。平成8年5月度に会長に就任させて頂いて以来7期目となります。大変光栄なことであり、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。これからの方産業、特に和歌山特産の農・林・水産業や、小規模・中小企業にとってはこの時代を生き抜くために、より一層の経営改革・経営革新、企業を継続的に発展させる経営戦略・手段として情報技術をいかに積極活用するかが求められており、当協会の役割も大きくなっていると考えます。

情報産業はグローバル化と共に輸出入産業を主体に活用発展してきましたが、まだ地方の小規模・中小企業には取り入れられていないのが実情ではないかと思われます。

この様な中で、和歌山県下の主要な情報系企業が主体となり、製造業や関連産業界も含めた多くの会員方で構成されている当協会は、和歌山県下の情報サービス産業界の人材育成・交流促進、ソフトウェアの開発促進、及び情報関連技術の利用促進等を通じて、情報サービス産業の健全な発展を図ってまいりました。

本県の情報化を促進し、経済・社会の発展に寄与する事の理念を改めて認識して、会員企業の人材育成活動と共に、「インフォフェア」「ソフトウェアコンテスト」などの地域情報化共同事業・地域人材育成事業に取り組みたいと思います。そして、和歌山県をはじめ関係諸団体、和歌山大学システム工学部をはじめとする大学、高等専門学校との産・学・官連携交流活動、中国を中心としたアジア地域との交流を含めて、より一層活発な活動を展開しなければならないと考えます。そのためにも会員の皆様方のご協力をいただきながら会員増強を図ることが大切であり、また会員代表者や従業員の方々含めての色々な活動・事業へ積極的にご参加して頂ける事が重要であります。会長として責任の重大さをあらためて認識しておりますが、会員皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

また、昨年度から公益法人制度が改正され、これに準拠した運営・会計処理の導入が必要となってきます。まだ当面は試行期間でもありますが新たな社団法人としての道筋を制定までには皆様と共に進めてゆかなければなりません。

今年度で当協会も設立以来15周年目に入り、今回の通常総会に併せて「設立15周年記念式典」を行いました。仁坂県知事はじめ関係諸団体から大変多くの方々に業務多忙な中にもかかわらず御出席を賜り、また先ほどはご祝辞も頂き誠にありがとうございました。私どもとしては、地域の情報化の担い手として地域社会への貢献に力を尽くしていきたいと考えております。当協会に対しての変わらぬご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。

今後とも、会員の皆様尚一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願ひ申しあげまして御挨拶とさせていただきます。



設立15周年記念式典会長挨拶



紀州ぶんだら踊り (WAKASA連)

WAKASA設立15周年 記念式典



和歌山県知事 仁坂吉伸様 祝辞

和歌山県知事
仁坂 吉伸 様

皆さん、こんばんは。

和歌山情報サービス産業協会の15周年をお祝い申し上げまして、ひとことご挨拶を申し上げたいと思います。

実は、和歌山という言葉をひとまずとて、「情報サービス産業協会」という名前を私自身聞きますと、ものすごくロマンチックな気分になるのです。何故ならば、かつて経済産業省（旧通産省）時代、一番初めに課の全体を任された筆頭課長補佐を務めたところが、情報処理振興課というところでございました。

そこで情報サービス産業協会の前身である、ソフトウェア産業振興協会と日本情報センター協会というお互いライバル意識をもった二つの団体を所管しており、これら団体を通じて草創期の社長さん達とお話をしたりして、いろんな政策をしてきました。特に、通信回線を自由に使わせると、今からすると夢のような話なのですが、そういう運動をして大騒ぎを巻き起こしたというふうなことが、私の役人生活の原点なんですね。

そんな和歌山情報サービス産業協会に今日、お呼ばれして、また先程、役員貢労、それから優秀社員として表彰式にて立派に讃えられた方々を拝見しておりますと、和歌山もこれからだと期待を感じている次第であります。

あの当時、メーカー向けのオーダーメイドのソフトウェアをつくるソフトウェア産業協会と、計算センターと称する情報処理業の情報センター協会とがあったわけですが、メーカーでも情報技術という力を借りて初めて競争力がつく、製品にIT技術を組み込んで、新しい製品を売ったり、機械をつくりたりするようなものもあるし、その他多くのユーザー企業もそだよなあとか。

また、例えば、銀行に情報処理部門ができ、それが他の企業の仕事もやれるようになり、どんどん発展して、もっと大きな情報サービス業になるのだろうとか、あるいは、エンジニアリングやコンサルティングをやっている企業なども、ITを活用して圧倒的に立派なサービスができるようになるよなあと、様々な視野で當時もい

ろいろと考えていたわけなのです。

当時そんなことを視野においていた業種がすべて、今この和歌山情報サービス協会にすべて入っていることで、二度目の感銘を受けました。

皆さんのようなそれぞれの業種で、それぞれが発展することによって、和歌山全体がもう一度、産業の力を取り戻せるというふうに考えております。

また、産学官協働という観点から、大学とかそういうところも入るべきだなとも考えたりしていましたが、きちんとそういったところも入っている。本当に素晴らしい会だと思っています。

今、和歌山県はターゲッティング・インダストリー・ポリシー（特定戦略産業育成政策）をやるぞと言っておりまして、そのひとつがIT（情報技術）であって、それから食品加工、水。そういうので、ターゲッティング・インダストリー・ポリシーと言ってるんですけども。昔、そういう名前をアメリカからつけられて、徹底的にいじめられたこともあります、さすがのアメリカも、和歌山で何をしようと、文句をいってくることもないでしょう。したがって、県と皆さんとで組んで、やりたい放題やって、日本や世界を席巻しようではありませんかというようなことを申し上げたいと思っております。

また県はそのほかにも、皆さんのために共通の働く基盤を提供しなければならないと思っています。以前からも取り組んでいますが、ブロードバンド環境であるとか、携帯や地デジも含めたハードウェアはきちんと整備する。それから、交通ネットワークなんかもきちんと整備することによって、和歌山は決して不便なところでなく、全国から孤立して他の人とは仕事ができないということのないようにしていくということ。そして、後は皆さんの創意と工夫、それから類いまれなる想像力でもって、和歌山を救っていただくことを是非期待したいと思っています。

15周年ということでございますが、今後益々発展されて、150周年記念の時にまた皆さまにお目にかかりたいと、それはちょっと先過ぎるかな。

このたびは、お招きあずかって本当に幸せでございます。皆様のご発展とご活躍を今後も期待しております。どうも、ありがとうございました。



衆議院議員 石田真敏様 祝辞

衆議院議員
石田 真敏 様

小宮山東大総長によると、現在の日本には高齢化、温暖化、情報化、地方格差など課題がいっぱいある。いずれこれらは他の国も経験する。これを解決していくことが、フロントランナーとしての日本が歩む道だと言われている。例えば、高齢化、これも遠隔医療をITを使つ

てどうやって解決していくかなど様々な可能性がある。温暖化についてもそうだ。また、先日「宇宙基本法」が通過。並びに「地理空間情報活用推進基本法」も通過し、基本計画も閣議決定された。

一番の問題は、これを利用してどういうビジネスモデルを作っていくかということ。宇宙から地面まで、GISとか衛星測位をどう活用するかということ。これから、情報関連の皆様方が、どうやって自らのビジネスモデルとして考えていくか。前を向いて進んで行く種はいくらでもある。それを掴み取り、育てるのがまさしく自分たちなのだ！という意気込みで今後も取り組んでください。



和歌山市長 大橋建一様 祝辞

代読 まちづくり局産業部 中谷部長様

和歌山市長
大橋 建一 様

社団法人和歌山情報サービス産業協会が設立されてから、十五周年記念ということでございまして誠におめでとうございます。本日ここに、情報サービス産業協会の講演会が盛大に挙行されましたこと、また、設立十五周年記念式典がこのように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

また、平素より、釜中会長をはじめ情報サービス産業協会の皆様方には、本市政の推進に格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、内閣府四月の月例経済報告によりますと、『サブプライム住宅ローン問題や株式・為替市場の変動、原油価格の動向等により、景気回復はこのところ足踏み状態にある。』ということであり、本

市でも、昨年六月の改正建築基準法施行に伴う建築確認・検査の厳格化による影響及び最近の原油価格の急激な高騰などにより、まだ厳しい状況であると認識しております。

活力のある都市であるためには、地域経済の持続的な発展が不可欠であり、また活力を創出するためには、新たな成長産業や新規起業を創出する環境づくりを進めることが重要であります。

本市といたしましても、起業家に対する支援や中小企業の皆様方が行うものづくり、販路開拓に対する支援及び企業経営における重要な資源である「人材」の能力開発・育成を支援するためのセミナー・研修会の開催、また資金繰りの円滑化のための金融対策等関係機関とも連携し、経営基盤の安定、強化を支援していきたいと考えております。

一方、本年は、和歌山城天守閣再建五〇周年にあたりますので、十一月二十三日までの七ヶ月間に渡りまして、「城フェスタ二〇〇八」と題して各種事業・イベントを展開する予定であり、特に、明後日十八日の日曜日には、和歌山城砂の丸広場において、オープニング

イベントを盛大に開催いたします。

これらの事業により、更に本市の重要な地域資源であります和歌山城の魅力を全国に伝え、県内外からの観光客の誘致を図るとともに、企業誘致施策の強化など地域経済の活性化にも努めていきたいと思つ



海南市長 神出正巳様 祝辞

海南市長

神出 正巳 様

皆様、こんにちは！新緑目に鮮やかな今日の良き日、社団法人和歌山情報サービス産業協会が、15周年を迎えられ、記念式典がこのように盛大に開催されます事を、心よりお喜び申し上げます。また、平素は海南市政全般に渡り、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、設立当初から「インフォフェア」や「ソフトウェアコンテスト」をはじめとする様々な活動を通して、地域の情報化を推進し、地域経済の活性化に大きく貢献されている事に深く敬意を表すると共に、本市行政においても、電子自治体の推進をはじめ、高度な情報処理技術の導入等に際し、多大なるご支援を頂いております事に、衷心より感謝申し上げる次第であります。

さて、15年前の出来事を紐解きますと、我が国においては、当時

ております。

最後になりましたが、社団法人和歌山情報サービス産業協会のますますの御発展と、本日お集まりの皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして私の挨拶の言葉とさせていただきます。



和歌山大学副学長 理事 森本吉春様 祝辞

和歌山大学 副学長 理事
森本 吉春 様

ただいまご紹介いただきました、和歌山大学、研究・社会連携・国際交流担当理事をしております、副学長の森本です。

和歌山情報サービス産業協会の設立15周年をお祝い申し上げます。

和歌山大学に工科系学部を設立するために私が和歌山に来ましたのが平成5年であり、丁度15年が過ぎ、WAKASAとほぼ同じ期間を和歌山大学で過ごしていることになります。

この間、和歌山大学、とくにシステム工学部やシステム情報学センターが、WAKASAの活動に直接あるいは間接にいろいろと関わってきました。WAKASAの発展に少しは貢献できたのではないかと思っています。逆にこの間、WAKASAのメンバーの皆様にいろいろとお世話になりました。例えば平成9年に和歌山で実験力学先端技術国際会議を開催したのですが、WAKASAの多くのメンバー企業から多面的な支援を受けました。

WAKASAは、ますます発展してきております。和歌山大学も皆様のご支援のおかげで、教育学部、経済学部に加えて、システム工学部ができ、さらに今年からは観光学部ができ、発展して参りました。

しかしながら少子化や法人化により、大学は半減するというような報道も出回っており、地方大学は生き残りをかけた活動を行っていかなければなりません。そのためには、すべての大学が今までのようにミニ東京大学を作るような活動を行っていてはダメで、地域

の日本新党代表 細川護熙氏の連立政権が発足して55年体制が崩壊し、米国ではビル・クリントン氏が大統領に、中国では江澤民氏が国家主席となった年であります。世界的に政治の体制が変革を迎える中、バブル経済崩壊後の「失われた10年」と呼ばれる時代のさなかに貴協会は設立されました。

この15年間は情報技術の進歩が目覚ましく、情報伝達が迅速かつ大量に行われるようになりました。又、情報機器が飛躍的に普及し、今や仕事においても日常生活においても、欠かす事のできないものとなっております。

本市と致しましては今後、地域企業の新商品開発、新規事業の開拓を促進し、新たな雇用の創出に結びつける為、情報技術産業をはじめとする新規産業の活性化に加え、既存の地場産業との連携を強める体制を整備して参りたいと考えておりますので、皆様方には、今後ともより一層のご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びに、社団法人和歌山情報サービス産業協会の今後益々のご発展と、皆様方のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、祝辞と致します。

の大学は、地域に貢献し特色ある個性ある教育研究を行う必要があります。

今までといいますか、かつてといいますか、今でもといいますか、研究の自主自律ということで、教員は自分の興味ある研究を進めてきました。このことはある面大事な事であります、大学のもてる能力を社会に十分に役立てていないという事が言われるようになります。大学の改革が求められています。4年前の大学の法人化と共に、国からの大学への運営費交付金は毎年1%ずつ減らされており、その分を埋めるため、大学の社会貢献を通じて外部資金を獲得することが求められています。

和歌山大学を取り巻く環境が厳しくなっただけでなく、情報産業における中国やインドの台頭などWAKASAを取り巻く環境も厳しくなってきており、地方自治体を取り巻く環境も過疎化と共にますます厳しくなってきております。今後は組織として産官学がこの悪環境をうちやぶるために、お互い協力をしながら地域の発展のためにベストとなる共同体を作る必要があります。

和歌山大学には280名余りの研究者があります。一大シンクタンクです。また、大学の設備も一部地元に開放しています。和歌山大学が行いました社会貢献をまとめた冊子を現在印刷中ですが、個々の教員は、非常に多くの地域貢献を行っております。しかし、法人化と共に今までなかった仕事が増え、教員は非常に忙しくなり、一方、運営費交付金が大幅に削減されたため、研究資金が枯渇してきています。今後、和歌山が発展するための取組は、組織として効率よく行っていく必要があります。WAKASAをはじめ和歌山県の企業にも、和歌山県の自治体にも、もっと和歌山大学をシンクタンクとして使っていただき、共存共榮できる体制を作りたいと思っています。その中で、WAKASAや和歌山の発展に、和歌山大学もさらに貢献できると思っています。

WAKASAの今後のご発展をお祈り申し上げると共に、和歌山大学がその発展に貢献できることを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

●WAKASA 15周年記念 役員功労賞贈呈リスト

会社名	表彰者役職	表彰者氏名
アイレス電子工業 株式会社	代表取締役	辻 正吾
株式会社 G I ソフト	代表取締役	郷 間 博 敏
専修学校 和歌山コンピュータビジネス専門学校	副校長	喜 田 至
株式会社 エムシーシー	代表取締役	中 村 芳 生

●WAKASA 15周年記念 会員企業優秀社員表彰リスト

会社名	表彰者氏名	会社名	表彰者氏名	会社名	表彰者氏名
あさかわシステムズ 株式会社	永 田 博 己	株式会社 G I ソフト	山 田 貴 代	阪和電子工業 株式会社	中 尾 春 喜
アイレス電子工業 株式会社	山 田 啓 二	株式会社 島精機製作所	戸 口 久 寿	株式会社 ピーシーチャレンジ	宮 本 和 政
アドバン工業 株式会社	岡 崎 貴 之	首都圏コンピュータ技術者株式会社	高 田 幹 也	富士通 株式会社 和歌山支店	宇都宮 毅
株式会社 エスアールアイ	花 田 英 吾	大洋工業 株式会社	小 門 孝 彰	株式会社 宮崎エンジニアリング	南 阜 宏
紀州技研工業 株式会社	亀 井 朋 紀	株式会社 テレコムわかやま	楠 本 満	専修学校 和歌山コンピュータビジネス専門学校	竹 内 誠 司
紀陽情報システム 株式会社	上野山 量 也	株式会社 テレビ和歌山	岡 田 延 也	和歌山ゼロックス 株式会社	香 庄 博 臣
株式会社 コンピュータ・イメージ研究所	吉 岡 義 純	西岡総合印刷 株式会社	西 岡 浩 志	ワコウコンサルタント 株式会社	廣 田 和 也
株式会社 G I ソフト	楠 原 享 憲	バルトソフトウェア 株式会社	井 上 忠 士	ワコウコンサルタント 株式会社	林 幸 宏

平成20年度 第22回通常総会・WAKASA設立15周年記念式典行事開催報告

- 去る5月16日(金)の午後12時からホテル・グランヴィア和歌山において、第67回理事会の開催と共に、第22回通常総会が開催され、引き続いて協会設立15周年記念式典・基調講演・交流懇親会開催と夜の8時半までの長時間にわたっての催しが行われました。
- 理事会は、昼食としてのお弁当を皆さんとご一緒に頂き、その後すぐに総会に先立っての議事の審議と共に、記念式典の運営等について協議されました。
- 通常総会は釜中会長の開催挨拶に続き議事に入りました。議事は平成19年度の事業報告及び収支決算報告、監査報告、平成20年度の事業計画及び収支予算、役員改選に伴う定款改訂、任期満了に伴う役員改選に関するもので、いずれも提案通りに承認可決されました。

(総会議事録は後日、協会HPに掲載致します)



役員功労受賞

特に今年度は、社団法人制度の見直しからの留保金の適正化を基に、今回の設立15周年記念式典関連費用と協会HPの新作費用を、留保金から捻出する予算編成としています。

- 総会に引き続き、協会の設立15周年記念式典行事の一環として、「関西の元気な中小企業経営者達～日本一明るい経済新聞社から～」のテーマで、“日本一明るい新聞”「産業情報化新聞社」の代表取締役・編集長の竹原信夫氏により、元気企業の御紹介を交えての中 小企業としての元気な経営について、100名近い参加者を前に大変元気な話し方での講演が行われました。

- 講演会に続き、15周年記念式典が開催され、和歌山県知事・仁坂知事様、衆議院議員・石田議員様、和歌山市長代理のまちづくり局産業部・中谷部長様、海南市・神出市長様、和歌山大学副学長・森本理事様の各位からご祝辞を頂きました。その後、「協会表彰規定」(H15.3制定)に基づいた、10年以上に渡って役員として協会活動にご尽力された方としての「役員功労賞」は4名の方々に、また協会会員企業の5年以上勤務されている社員を対象とした「優秀社員表彰」の22社24名の方々に対し、釜中会長から、記念品と共に表彰状が授与されました。

●「日本一明るい経済新聞」編集長 竹原氏の講演

サンケイビジネスアイで約30年間記者活動されたのち、“日本一明るい経済新聞”の編集長として「産業情報化新聞社」を独自で立ち上げられ、毎月関西地域主体に約40社の中小企業の経営トップに取材され、「なぜ、儲かっているのか?」・・・と元気経営の秘密を探り、新聞は基より、自社HPや各種メディアへの出演、講演等々を通じて紹介され、「そうか、こうすればやれるのか!」と言った経営のヒントを掴んで頂き、“自信”と“やる気”と“明るさ”を企業・経営者に取り戻して貰いたいとの熱い思いを、今回のWAKASA創立15周年記念式典で、多くの県内ご来賓方や会員の皆様方を前に、語って頂きました。

〈今回の講演の概要〉 「成功社長の共通点」として

あ：明るい経営・・・気持で笑顔、明るく振る舞う
い：意志が強い・・・成功するまで頑張る
う：運が良い・・・良い方向に思い込む
え：縁を大切に・・・信頼を得る
お：大きな夢・・・大きな夢を持つ

(まとめ)

* 1円でも高く売る

中小企業さんは価格競争し、よそより1円でも安く売ることに汗を流してこられました。これからは、1円でも高く売る工夫をしてください。

* よそと違うことをやろう

1円でも高く売るには同じ商品と同じサービスで売っていたら、絶対高く売れません。それにはよそとは違う機能やサービス、お客様を喜ばす工夫をしてください。

* シンク・ディファレント

アップルコンピュータが厳しい状況に追い込まれたとき、社内で打ち出した運動です。「違うこと考えよう」として、新しい戦略を社員みんなで考えました。それで、危機を乗り越えました。

だから、みなさんもヨソと違う事を考えてください。

- その後会場を移して、ご講演された竹原編集長・ご来賓方々・優秀社員の皆様も含め120名程の参加による「交流懇親会」が開催されました。司会は記念式典に続き、

(株)和歌山放送の赤井アナウンサーによるウイットに富んだ素晴らしい進行の下で、今回の15周年記念式典実行委員長を務められた細江副会長の開会挨拶に続き、和歌山大学システム工学部・鯉坂副学部長、(財)わかやま産業振興財団・上川常務理事様から御挨拶を頂き、大阪からお越し頂いた近畿情報システム協議会・吉永会長様から乾杯のご発声を頂きました。やっと喉を潤すビールと楽しい食事と共に、名刺交換されながらの歓談の後に、和歌山県下で大変活躍され、今では全国から海外まで活動されている「ケイト・オカ」イルュージョンを目の前の舞台で、50分間にわたる感動のマジックを堪能されました。その後例年行われている、釜中会長からのご寄付による豪華賞品が当たる抽選会で楽しまれ、午後8時半に、三宅副会長による中国語も交えての万歳三唱で閉会されました。



役員功労受賞挨拶



優秀社員挨拶



優秀社員受賞



竹原氏講演



イリュージョン

活動実績

5月

- 17 (木) 第63回 理事会
第21回 通常総会 (ルミエール華月殿: 46名)
講演会: 「ドミニカの実状とODA活動報告」
講師: マネジメントシステム研究所 所長 工藤忠久 氏
27 (日) バスツアー「U.S.J.ツアーア'07」 (14名)
【振興厚生委員会】



総会懇親会

USJバスツアー

6月

- 7 (木) 情報技術セミナー マイクロソフトオン研修 (41名)
【技術開発委員会】
20 (水) 会員企業見学 紀州技研工業(株) & 懇親会
(紀州技研工業(株) 40名・懇親会会場: 華月殿 22名)
【産学官交流推進部会】
講演会「下請法」 (紀州技研工業(株) 31名)
【経営研究部会】



総会・講演会

マイクロソフトオン研修

7月

- 6 (金) 会員外企業見学会 (株)ダイワク 「日に新た館」 (大津) (10名)
【経営研究部会】
7 (土) 第31回WAKASA会長杯 (瀬田C.C: 11名)
4 (土) 「第39回紀州ぶんだら踊り」に参加 (踊り参加 約290名)
(懇親会会場: アバローム紀の国 約250名)
【振興厚生委員会】 【ぶんだら踊り実行委員会】
10 (金) 第64回理事会 (紀州技研工業(株) 19名・懇親会19名)
30 (木) 和歌山県とWAKASAとの意見交換会&交流会
(ルミエール華月殿 交流会 20名・懇親会 18名)
【産学官交流推進部会】
31 (金) WAKASA連 「ぶんだら市民賞」を受賞
昨年に引き継いでの3年連続受賞 【振興厚生委員会】



企業見学会「紀州技研工業」

日に新た館

講演会「下請法」



ぶんだら市民賞



第7回中国語講座

9月

- 5 (水) 第7回中国語“超”基礎講座 開催
(9/5~10/24まで 全8回)
毎週水曜 (ふくふくセンター 12名) 【国際部会】
13 (木) 和歌山大学システム工学部若手研究者研究成果発表会
(産学連携研究成果発表会&交流会)
情報サービス産業クラスター事業の一環として実施
(華月殿・37名)
【人材育成・交流促進委員会】 【産学官交流推進部会】



県と意見交換会



和大若手研究者

10月

- 19 (金) 情報セキュリティセミナー2007 (技術コース)
IPA、和歌山リサーチラボ等主催 (会員企業: 10名)
【技術開発委員会 後援】
21 (日) わかやまソフトウェア・CGコンテスト SW本審査会
和歌山リサーチラボ内 (審査委員7名、ソフコン実行委員数名)
【ソフトウェアコンテスト実行委員会】
28 (日) わかやまソフトウェア・CGコンテスト CG本審査会
和歌山リサーチラボ内 (審査委員3名、ソフコン実行委員数名)
【ソフトウェアコンテスト実行委員会】



情報セキュリティセミナー



ソフトウェア・CGコンテスト審査会

11月

1～4（木～日）海外視察研修「中国大連視察」実施（8名）
【国際部会】



23（金・祝日）第32回 WAKASA会長杯（有田東急カントリー・13名）
【経営研究部会】

海外視察研修 海外視察研修（中国大連）

24（土）「第16回わかやまソフトウェア・CGコンテスト'07」表彰式開催
(会場：紀南文化会館 来場者数：約100名)

・エントリー数 SW41作品（入賞11点・入選4点）、CG81作品（入賞7点・入選12点）

各作品はURLでご覧下さい。URL：<http://www.wakasa.or.jp/sofcon/>

☆SW最優秀・県知事賞：E-G r o u p（和歌山大学システム工学部 5名）

作品名「M e l o d y M a k e r」

☆SW優秀・海南市長賞：草分 裕也（和歌山工業高等専門学校） 作品名「魔法使いの冒険紀」

☆SW優秀・和歌山商工会議所会頭賞：谷野 本和（学習塾 成学舎） 作品名「補助教材群」

☆CG最優秀・和歌山県情報化推進協議会会长賞：森田 彩香（和歌山県立笠田高等学校）

作品名「和歌山 o n t h e m i c h a n」

☆プレゼン賞：E-G r o u p（和歌山大学システム工学部 5名）

作品名「M e l o d y M a k e r」

【ソフトウェアコンテスト実行委員会】



ソフコン集合写真

ソフコン表彰式会場

ソフコンCG最優秀受賞者

ソフコンSW最優秀受賞者

12月

6（木）「第15回インフォ・フェア'07 in わかやま」開催
「テクノ・ビジネスフェア」「特許ビジネスフェア」と同時開催
(会場：和歌山ビッグ愛 展示ホール)
(出展企業・団体：13 来場者：延べ 600名)



インフォフェア

【インフォフェア実行委員会】
20（木）平成19年度末「WAKASA合同交流懇親会」（華月殿・42名）
講演会：「ITとストレス」のお話 【人材育成・交流促進委員会】
講師：和歌山県立医科大学 神経精神医学教室 教授 篠崎 和弘 様



インフォフェア会場

1月

11（金）KISA新年賀詞交歓会＆フォーラムに参加
(大阪科学技術センター：WAKASAから11名)
フォーラム：「21世紀情報システム発展の傾向」
講師：株船井電機新応用技術研究所
代表取締役社長 佐々木 正 様
【KISA主催】



インフォフェア会場

17（木）和歌山県情報政策課と交流。
電子県庁システム「ながさきモデル」の説明会参加
和歌山県庁南別館会議室（7名）【技術開発委員会】
25（金）第65回 新春理事会（エクシブ白浜・19名）
26（土）新春特別WAKASA会長杯（ラ・グレースC.C 14名）
【経営研究部会】



年度末交流懇親会・講演会

年度末交流懇親会・講演会

2月

7（木）「和大院生研究成果発表会＆交流会」
情報サービス産業クラスター事業の一環として実施
(アバローム紀の国・ 69名)
【人材育成・交流促進委員会】 【产学研官交流推進部会】
28（木）第12回WAKASAボウリング大会（BOWL123 13社86名）
【振興厚生委員会】



和大院生研究成果発表会

和大院生研究成果発表会

3月

19（水）第66回 理事会（株和歌山リサーチラボ）
22（土）第33回WAKASA会長杯（有田東急C.C 13名）【経営研究部会】

6

第12回 WAKASAボウリング大会成績 (振興厚生委員会主催)

H20.2.28 (木) 18:50~21:00 会場: BOWL123

団体戦 (1ゲーム)

- 優勝 株サイバーリンクス B (186 p)
- 2位 紀陽情報システム(株) A (152 p)
- 3位 紀陽情報システム(株) B (147 p)

個人戦 (2ゲーム合計)

- 優勝 上野 晃 (紀陽情報システム(株) 370 p)
- 2位 前田 洋介 (アドバン工業(株) 364 p)
- 3位 阪本 彰央 (紀陽情報システム(株) 360 p)



ボウリング団体優勝



ボウリング個人優勝



ボウリング始球式



ボウリング風景

WAKASAゴルフコンペ成績

(経営研究部会主催)

第31回WAKASA会長杯・・・H19.7.7 瀬田C.C. 11名

- ・優勝 原戸 俊和 部会OB
- ・2位 釜中 甫干 紀州技研工業(株)
- ・3位 三宅 安幸 あさかわシステムズ(株)



第31回優勝者

第32回WAKASA会長杯・・・H19.11.23 レオグラードC.C. 13名

- ・優勝 談坂 恒夫 和大システム工学部教授
- ・2位 出口 龍正 阪和電子工業(株)
- ・3位 山田 俊治 事務局



第32回大会参加者

新春特別WAKASA会長杯・・・H20.1.26 ラ・グレースC.C. 14名

- ・優勝 竹山 誠一 和歌山ゼロックス(株)
- ・2位 岡 八重子 (株)岡会計センター
- ・3位 平原 佳和 (株)テレビ和歌山



第32回優勝者

第33回WAKASA会長杯・・・H20.3.22 有田東急C.C. 13名

- ・優勝 石橋 英二 西岡総合印刷(株)
- ・2位 三宅 安幸 あさかわシステムズ(株)
- ・3位 山田 俊治 事務局



第33回優勝者

活動計画

各主要事業・常任委員会・部会の平成20年度の主な活動計画
(19年度活実績の具体的な内容は月別「活動実績」をご覧ください)

1. 情報系研修（人材育成・交流促進委員会が担当）

委員長：喜田 至

昨年度に連携活動をしたNPO和歌山IT教育機構との連携は一旦中止します。

新たな計画は模索中ですが、新入社員研修やビジネス研修と共に、IPAやJIPTECからの情報系公募研修は継続しますので、案内に応じて多数の参加を期待しています。

2. ソフトウェア・CGコンテスト（ソフコン実行委員会が担当）

実行委員長：辻 正吾

第17回目としての開催であり、表彰式は、11／22（土）に和歌山市内の和歌山ビッグ愛で行います。今年度も、CG作品をテーマ「紀州の観光」と自由テーマで応募します。表彰式の後には、受賞関係者と情報系企業等主催関係者との交流懇親会を行い、更なる情報系人材育成・産業活性化への発展に向けての良き機会になるように企画しています。

専用HPのURL：<http://www.wakasa.or.jp/sofcon/>

3. インフォフェア（インフォフェア実行委員会が担当）

実行委員長：石橋 英二

今年度はまだ具体化出来ていませんが、県内の優秀な人材が協会内企業（県内企業）への就職に結びつくように、産学官連携したイベント形態での開催へと模索中です。

専用HPのURL：<http://infofair.wakasa.or.jp>

4. 技術開発委員会

（協会HPのメンテナンスと情報系技術の向上活動が主体）

委員長：寺下 卓

現在ご使用されている協会のHP（ホームページ）を、会員代表及び従業員の方々も含て、より一層ご使用・ご活用いただけるように作新します。今年度中の完成を目指し会員企業内コンペ形態で、役員による入札審査会を経て制作企業選定し実施に掛かります。

コンペの受け付け締め切り：6／30正午 事務局必着

協会HPのURL：<http://www.wakasa.or.jp>

5. 振興・厚生委員会（協会内従業員を含めた交流・懇親活動が主体）

委員長：長谷部 巧

・8／2 開催の「第40回紀州ぶんだら踊り」のニューバージョンへ参加します。

踊りの後は、参加者全員参加の豪華で楽しい懇親会を行います。

・10／4（土）にバスツアーとして、大阪「天満天神繁昌亭」の落語鑑賞に行きます。

社団法人 和歌山情報サービス産業協会

平成20年度役員体制表

平成20年5月16日 総会に於いて承認

	代表者	会 社 名	役 職	
会 長	釜中 甫干	紀州技研工業株式会社	代 表 取 締 役	再任
副 会 長	三宅 安幸	あさかわシステムズ株式会社	代表取締役社長	再任
	細江 美則	太洋工業株式会社	代表取締役社長	再任
	村上 恒夫	株式会社サイバーリンクス	代 表 取 締 役	再任
	廣崎 清司	株式会社宮崎エンジニアリング	代表取締役社長	再任
	阪本 彰央	紀陽情報システム株式会社	取 締 役 副 社 長	新任
専務理事	中尾 正治	株式会社和歌山リサーチラボ	代表取締役専務	再任
理 事	辻 正吾	アイレス電子工業株式会社	代 表 取 締 役	再任
	郷間 博敏	株式会社G!ソフト	代 表 取 締 役	再任
	石橋 英二	西岡総合印刷株式会社	代 表 取 締 役	再任

	代表者	会 社 名	役 職	
理 事	長谷部 巧	阪和電子工業株式会社	代 表 取 締 役	再任
	竹山 誠一	和歌山ゼロックス株式会社	執行役員営業部長	再任
	浦 聖治	株式会社エスアールアイ	代 表 取 締 役	再任
	長尾 明	アドバン工業株式会社	代 表 取 締 役	再任
	寺下 卓	株式会社ビーシーチャレンジ	代 表 取 締 役	再任
	新家 啓吾	ワコウコンサルタント株式会社	代 表 取 締 役	再任
	西川 雅弘	富士通株式会社 和歌山支店	和歌山支店長	再任
	平原 佳和	株式会社テレビ和歌山	取 締 役	新任
監 事	井上 君代	トランス・コスマス株式会社 和歌山支社	支 社 長	再任
	喜田 至	専修学校 和歌山コンピュータビジネス専門学校	副 校 長	再任